

Ⅷ. その他の危険有害性情報の「見える化」

BH等の車両系建設機械の始動時は「思い込み」や「思い違い」で既設物破損事故や捲込み災害が発生しやすい状況でした。作業開始前に周囲を確認するために

BHのキャタクリップ取付けで周囲安全の見える化

作業終業時にキャタピラの対角線上にカラーコーンを設置して始業時に周囲確認と回収をしていました。

- ・キャタピラの対角線上に設置したカラーコーンが風で飛ばされる。
 - ・他の作業員がカラーコーンを他の場所で使うために移動されてしまう。
- などの問題点がありましたので「カラーコーン」を『布団ばさみクリップ』に替えてみました。布団ばさみクリップをキャタクリップと呼んでいます。



「キャタクリップ」回収時に重機を一周して周囲確認する



「キャタクリップ」設置状況(作業中)



「キャタクリップ」設置状況(左前)

『布団ばさみクリップ』ですので作業中も手摺に掛けて保管管理出来ています。

風で飛ばされる可能性も少なくなりました。



今までは
キャタピラの対角線上にカラーコーンを
設置して管理していました。



今までは
風で飛散する、他の人が移動する
こともありました。